



報道機関 各位

記者発表資料
令和元年12月19日(木)
問い合わせ先：観光国際課
課長：千葉
担当：仙波、荻原、原田
電話：829-1365
内線：4785

東京2020大会に向け、
東日本連携各自治体の観光プロモーションを行うWEBサイトを公開します

さいたま市では、東日本連携を構成する各自治体間の地域資源を相互活用した広域観光振興を促進するため、東日本連携広域周遊ルートを策定し、周遊ルート及び各自治体の認知度向上に向けて国内外へ情報発信を行っております。

この度、東京2020大会を題材とした連携事業の1つとして、各自治体の観光地を紹介するWEBサイトを公開します。

1 目的

東京2020大会を見据えて、国内観光客のほか、さいたま市で全試合が開催されるバスケットボールに関心がある外国人をターゲットに、東日本連携各自治体のプロモーションを行う。

2 WEBサイトについて

- | | |
|----------|---|
| (1) サイト名 | Experience East Japan
<u>URL : https://experienceeastjapan.jp/</u> |
| 言語 | 日本語、英語 |
| (2) 内容 | 訪問 (visit)、体験 (experience)、食事 (dine)、買い物 (buy) のカテゴリーに分類して紹介。その他、各自治体の観光情報WEBサイト等も紹介 |
| (3) 公開日 | 令和元年12月20日(金) |

3 WEBサイトのイメージ

【パソコン版 TOP ページ (一部)】



【スマホ版 TOP ページ (一部)】



【東日本連携広域周遊ルート策定研究会について】

設置日：平成28年12月27日

目的：「東日本連携・創生フォーラム」の枠組みを活用し、各間の広域連携による地域資源を相互活用した広域観光周遊ルートの策定と国際的な観光認知度の向上

構成員：本市を含め22自治体（令和元年12月20日現在）

函館市、盛岡市、仙台市、秋田市、福島市、会津若松市、郡山市、宇都宮市、小山市、那須塩原市、みなかみ町、新潟市、三条市、魚沼市、南魚沼市、高岡市、氷見市、南砺市、金沢市、長野市、上田市、さいたま市